

交流センターで、
たくさんのお出会い。
交流・コラボが
生まれています！

Get together 2025

団体を紹介します！
池田市公益活動助成金
2024年度秋・冬事業報告

池田市立市民活動交流センターだより

しみから

【 SHIMIKATSU 】

04
2025.03

イベント・情報広場

池田市内で活動する団体のイベント情報をお知らせします

2025年 4~6月

多様な視点を分かち合う ソートストーム®会

ソートストーム®会
日時:2025年4月5日(土)、5月17日(土)、6月21日(土)
12:30~14:30
場所:市民活動交流センター2階 小会議室
内容:ソートストーム®という発見のためのグループワークです。参加者の意識が広がることで、多様な思考が嵐のように作用し合いながら方向を持ちはじめ、グループの全員が腑に落ちる答えが明らかになっていきます。
参加費:500円(ハーブティー付き)
問合せ先:080-4249-3955(藤原)



新緑の醤油祭り in ゴリラランド

みんなの農園ゴリラランド
日時:①2025年4月13日(日)、②19日(土) 10:30~
場所:みんなの農園ゴリラランド(池田市東山町)
参加費:①500円②大人3,000円子ども1,500円
内容:①お醤油仕込み体験ワークショップとゴリラマルシェ
②お醤油搾り体験春祭り~搾りたての味、食べ放題~
問合せ先:Instagram又は公式LINE
<https://line.me/R/ti/p/@540bmthu>



Instagram



公式LINE

福祉現場で活かせる 「傾聴講座と懇談会」

傾聴ボランティア「心の倉庫」
日時:2025年4月15日(火)13:00~16:00、16日(水)10:00~16:00
場所:池田市市民文化会館中会議室
参加費:500円
講師:NPO法人シニアライフセラピー研究所理事長 鈴木しげ氏
定員:30名(オンライン参加も可能です)
問合せ先:090-6061-5338(竹内)



トアエルマーケット2025

NPO法人トアエル
日時:2025年4月19日(土)、20日(日)10:00~15:00
場所:豊島野公園(池田市市民文化会館隣)
内容:いけだ春団治まつり第3会場での市民活動団体及び支援者による活動発表、フリーマーケット、模擬店など
問合せ先:072-737-5707



ツキイチmeets

meetsプロジェクト
日時:2025年4月19日(土)13:00~14:00
10:00~16:00
場所:市民活動交流センター大会議室
内容:シニア親・子で学べる 終活と亡くなった後の事務手続きの話
参加費:500円
講師:行政書士 松田美南子
定員:30名(オンライン参加も可能です)
問合せ先:072-750-6255(ヨネダ)
mail.info@free-st.jp



虹色パレットフェスティバル

NPOしんじん・るい
日時:2025年5月31日(土)10:00~15:00
場所:池田城跡公園
内容:子ども食堂や不登校支援、里親活動など、北摂の居場所づくり事業団体でワークショップや飲食店などを出店♪
参加費:来場無料
問合せ先:090-4276-9071(志水)



情報誌

しみから

第4号(年3回発行)
発行所:池田市立市民活動交流センター
〒563-0050 池田市新町1-8
TEL:072-750-5133
E-mail: info@ikedakoryu.jp
発行日:2025年3月26日



ホームページ



Facebook

情報誌しみからは、年に3回発行、次回は7月発行予定です。
・メルマガジンは発行予定で団体のイベント情報や会員募集の他、助成情報などを配信いたします。
・メルマガの配信を御希望の方は info@ikedakoryu.jp まで氏名、所属団体名、電話番号、配信先メールアドレスをお知らせ下さい。

【情報誌、メルマガへの掲載を御希望の方】
・情報誌へのイベント等の掲載を希望される方は発行の1ヶ月前までに交流センターへご相談ください。
・情報誌、メルマガへの掲載をご希望の方は申込フォーム又は info@ikedakoryu.jp まで、イベント名、主催、日時、場所、内容、参加費、申込み・問合せ先をお知らせください。

※公益性を認める市民の活動について掲載させていただきます

申込フォーム



阪急電車「池田駅」下車 徒歩10分

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

Get together 2025

2/15 (土)

池田みんなの発表会開催!

2025年2月15日(土)に、市民活動交流センター全館を使用した市民と市民・地域活動団体による交流イベント「Get together 2025」を開催しました。これまで以上にたくさんの方と交流が図れるイベント内容にすべく結成した実行委員会のメンバーで半年の期間、準備を進めてきた結果、約350名もの方々に来場いただくことができました。

日頃から積極的に市民活動に取り組んでおられる実行委員から出されたアイデア、例えばチラシ配布先の見直しやインフォメーションカウンターの充実、館内マップの見やすさ向上、フォトスポットの設置、他施設とコラボしたワードラリーの実施、池田市観光大使のいけだ織姫姉妹の招待などを実現しました。

市民活動交流センターに登場 した4つのイベントスペース

バラエティコーナー(2F)

フリースペースはオリジナル缶バッジ作りやクワガタの幼虫とのふれ合い、子供服を中心としたおさがり交換会にぎわいました。キッズスペースでは絵本の読み聞かせ、創作紙芝居、音楽に合わせたパネルシアターが行われ、子どもたちが目を輝かせていました。可愛いキャンドル作りも人気を集め、フォトスポットでの「撮影マイスタークラブ」の撮影サポートは来場者みんなで一緒に記念写真が残せると好評でした。



体験(3F)

お囃子やブレイクダンス、身近な問題である後見人制度について学ぶセミナー、知って得するお金クイズなど貴重な体験や見識が広がるコーナーとなりました。



ワードラリー

様々なブースを回り、たくさんの方と交流いただける様に交流センター内とまちなかに隠された7つのワードを探し出すワードラリーを実施しました。ワードを集めた参加者には交流センター特製のしみかつトートバックをプレゼント。SUBACO※で行われている「こたつ会議」の会場やサカエマチ2番街商店街にもワードを設置させていただきました。いけだピアまるセンターにも「コワーキング体験デー」を同日開催いただくなど地域と連携しました。



※栄本町にある市民交流の場

作品展示・ワークショップ(4F)

手作りおもちゃ、楽器作り、フラワーケーキ作り、手話体験など、子どもから大人まで楽しめる内容となっており活動紹介や今後の活動予告などが出展されていました。大会議室のスクリーンには交流センターを使用している様々な分野で活動する31団体の紹介動画を放映しました。



動画はこちら▲

ステージ(3F)

日頃からセンターを利用されているグループや、市民団体による演奏、演劇、ダンスなど、バリエーション豊かな13ものプログラムが披露されました。キッズダンスやマジックショーは、見物の方が会場に入りきれないほどの人気ぶりでした。



出展者アンケートより

- ・たくさんの方が参加することが分かった。
- ・ワークショップに参加した子どもたちが楽しんでいた。
- ・交流センターがどのようなことをしているのか知らない方が多いのでこのようなイベントを通じて広く周知して欲しい。
- ・インスタ告知で参加団体の内容を事前に知れて良かった。
- ・いけだ織姫姉妹のイベント参加が印象的。



実行委員の振り返りより

- ・LINEのオープンチャットを活用し連絡を取り合ったことで、スムーズな企画に繋がって楽しかった。
- ・初めての参加だったので、雰囲気も分からないままの参加となったが、皆の意見が参考になった。
- ・一つのイベントを作り上げる過程に携わることができ、とても勉強になった。

もっと参加団体同士の交流が進めば良いなど次年度への課題も確認し、最後にみんなで集合写真を撮影しました。



みんなの右手は、Get togetherの「G」です

次年度に向けて

今年度は初めて実行委員会形式で実施しました。準備を進める中、互いの理解が深まり委員の所属団体間で事業を連携開催したり、本イベント内でも出演団体に出演団体が手話通訳するなどコラボが起きました。今後は参加者同士の更なる交流やコラボにつながる仕掛けを検討して、個々の団体の発表会から、みんなで一緒に作り上げるイベントになるよう進めていきたいと思ひます。

特定非営利活動法人スポイの会

外国人と地域の架け橋になり、当たり前外国人がとりに居る社会をめざすスポイの会の吉井さん、山田さんにお話を伺いました。



理事長/吉井 順子さん(左)
副理事長/山田 直輝さん(右)

● 外国人介護士が地域の一員として安心して仕事ができるようサポートしたい

—活動を始めたきっかけは?

山田: 我々の勤める介護施設ではEPA(経済連携協定)*をきっかけとして、2017年に外国人介護士の受け入れの検討が始まりました。インドネシアの方はどうかという話になり、在大阪インドネシア共和国総領事館を訪問し配慮すべきことを聴いてみたところ「あの子たちは順応しますから大丈夫。習慣や文化を尊重いただき、ありがとうございます。」と総領事が直々に握手してくれたんです。海外の子たちを託された気持ちになりました。恐縮しましたが同時にインドネシアの方なら大丈夫と感じ安心して受け入れを決めました。

吉井: 実際、慈愛の心を持っていて本当に優しい人たち、想像以上でした。

山田: しかし受け入れ後、外国人だからと、それが理由ではないのに介護士が責められる場面がありました。施設以外で守ってくれる先がないと気付き介護士サポート協会を作ろうと考えました。別の場面ではインドネシア人介護士が「休日は家で映画を見たり自転車に乗ったりするくらい」と言うのを耳にしました。技術の習得や日本人スタッフ・利用者との関係構築、資格試験の勉強に忙しく地域との接点がなかったのです。「故郷に帰った時、日本での思い出を何て話すんだろう?」という話になりました。介護士の子どもが学校で孤立する事態にも直面しました。そのようなことがあって外国人が地域に溶け込んで暮らせるようにしなければという気持ちが強くなり「スポイの会」を2021年に発足し2023年に法人化しました。



● 多文化共生の促進が地域に笑顔を咲かせる

—現在の活動内容を教えてください

山田: 様々なイベントに出てインドネシア文化に触れてもらう機会を提供しています。子どもたちや外国人の方々が交流する「ほほえみ食堂アジア」も運営し、参加者は老若男女、介護士以外のインドネシア人やネパールの家族などにも広がり当初の予想を超えた交流が生まれています。

吉井: 市民との交流が、「池田市に来てよかった」と感じてもらえる機会になっています。

山田: 外国人介護士とともに大学の看護学部や池田市の小学校に行き、日本で働くことの実地やインドネシアの遊びなど文化について話す機会をいただくなど活動が広がっています。2024年には念願の外国人介護士交流会を池田市で初めて開催できました。

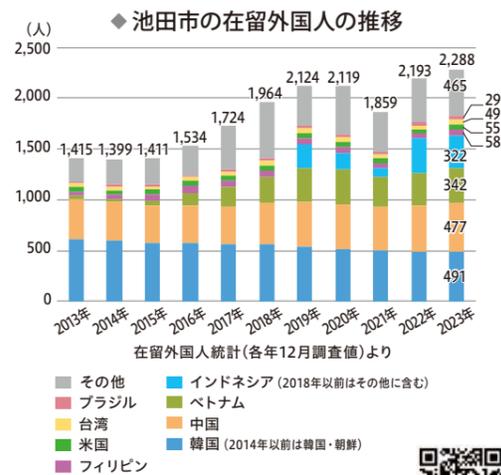
● 国や年齢を超えて、誰もが未来に夢と希望を輝かせるような地域社会へ

—「こうなるといいな」という未来のビジョンは?

山田: 外国人労働者が増加する中で、彼らのサポートを広げていきたいですし、日本が第2の故郷と思ってもらえる取り組みを進めたいです。当たり前外国人がとりに居て、地域の方々にも「共存していて良かった」と思ってもらえる活動をしていきたいです。

吉井: ぜひ皆さまと共に、心地良いそよ風(インドネシア語でスポイ)を起こしていきたいですね。

*2国以上の間での親密な関係強化を目指し、幅広い分野での連携を促進する条約



住所:大阪府池田市建石町8-10

ほほえみの園内

mail:sepoijepanh@gmail.com



詳しくはこちら▲

一般社団法人あおいほし

文化芸術で子どもたちの主体的な学びを育む『あおいほし』の活動についてお話を伺いました。



代表理事/浦辺 収元さん(中央)
副代表理事/梅津 奈緒美さん(左)
理事/宮崎 桂子さん(右)

● 自分の「好き」に向かって人生を豊かに生きてほしい

—活動のきっかけ・名前の由来を教えてください

浦辺: 私たちの活動のきっかけは、子どもたちが自分で考えたり、自由に表現したりできる「主体的な学び」を尊重したい、という思いから始まりました。私自身、幼稚園や保育園で10年以上働いて、子どもたちは決められたことをするだけでなく、「自分はこれが好きだ」という想いを形にできる環境が必要だと感じました。

宮崎: 『子どもたちの心を大事にしたい』という共通の思いから、この活動に取り組んでいます。

梅津: 2013年に宝塚市で絵画教室が始まりました。今では料理やダンス、将棋など様々な活動「子ども教室」を通じて、子どもたち一人一人に「何をしたいか」を問いかけ、その思いに寄り添いながら自信を持てるようにサポートしています。

浦辺: 2024年4月に一般社団法人を立ち上げました。『あおいほし』という名前には、進むべき方向の目印となる北極星のように、「子どもたちが自分の道を決められるように手助けしたい」という想いを込めています。

● 自分らしさを大切に、子どもたちがやりたいことを安心して表現できる場づくり

—具体的にどんな活動・運営方法をしているのでしょうか?

梅津: 例えば、お菓子作りや料理では、想いを自分の力で形にしていく過程を大切に、子どもたちがのびのびと挑戦できる環境を心がけています。そして、計量からラッピングまでの工程を全て自分で、やったことや感じたことをノートで振り返ります。このようにすることで、「次はこうしてみよう」とチャレンジする力や自信が育まれます。

浦辺: 私たちは、先生を選ぶときに重視していることがあります。それは、先生が「子どもたちとしっかり向き合いたい」という気持ちを持っていることです。私たちは、技術を教えるだけでなく、子どもたちが心からワクワクできるように、どんなサポートができるかを常に考えています。

宮崎: 教室を終えた子どもたちの誇らしげで満足そうな表情を見て、保護者の方々もとても嬉しそう。ここは「自分を認めてもらえる場所」なんです。

浦辺: 自分で考えて、選んで、決めることができると、人生はもっと楽しく、豊かになると考えています。自分をしっかり見つめる時間が、自分への自信につながるのだと。自分の気持ちや考えを大切にすることが、大きな力になると考えています。

● 子どもたちの想いと地域をつなぎ、豊かな未来をつくりたい

—あおいほしのビジョンについて教えてください。

浦辺: 私たちの目標は、子どもたちが自分を大切に、豊かな人生を送るための学びに寄り添う活動を続けることです。そのために私の住む池田市でも、市民活動交流センターなどの公共施設を活用して「子ども教室」を開いたり、地域のイベントに参加したりして、地域の人たちともっと関わりながら活動を広げています。

そして、この活動を通じて、子どもたちの心を大切にしたい大人たちとつながり、みんなでサポートできる環境を作りたいんです。そうすることで、町がもっと楽しく、豊かになると信じています。

あおいほしの活動

- 子ども企画 (子どもたち自身でやりたいことを企画)
- おたのしみ会 (野外活動を中心に体験を重ねる)
- 教育機関との連携 (外部講師など)
- 子ども教室
 - ・あおいほし絵画教室
 - ・パティスリーあおいほし
 - ・アオイホシ・ダンス・クルー
 - ・あおいほし将棋道場

住所:兵庫県宝塚市売布3丁目20番22号

mail:hello@aihoshi.or.jp



詳しくはこちら▲

新年度も始まります!

池田市公益活動助成金

池田市には公益活動を行う市民をサポートするための助成金*が用意されています。



交流センターの助成金情報コーナー

2025年度も公益活動を行う市民をサポートする助成金が始まります。

活動を始めたい人、始めたばかりの人にも申請しやすいよう、右の2コースが設定されています。

活用を検討したいという方は、お気軽に交流センターへ御相談ください。

	活動支援コース	発展支援コース
特徴	提出書類が少なく事業計画書も簡易で、申請経験がなくても申請しやすい	プレゼンテーション、報告会での報告も必要一方、まとまった金額が助成される
助成上限額	5万円	50万円
助成割合	3分の2	2分の1
申請回数	5回まで	3回まで
申請時期	4月から随時 (予算がなくなり次第終了)	毎年度4月中

池田市公益活動助成金を受けた団体の声

2024年度に池田市公益活動助成金の交付を受けた2団体にお話をうかがいました。

活動支援コース

CASE 01

親子で学べるお金の学校
大田 完司 さん



団体紹介

「親子で学べるお金の学校」

「どんな時代になろうと“生き抜く力”を“継続的”に学ぶ場を提供したい」という想いから、親子や多世代向けに金融リテラシーを育む体験型講座を実施しています。

助成金を活用した事業は?

「お金と芸術(アート)・学びと体験!!」をテーマに、金融リテラシーの学びを深めるため、創作書道を同時体験できる親子向けハイブリッド型ワークショップを開催しました。助成金はその会場費や材料費、講師謝金などに充てました。文化芸術が持つ社会的・経済的価値に触れながら、親子でお金の可能性について考える機会を提供できました。

活動支援コース

CASE 02

傾聴ボランティア「心の倉庫」
竹内 詔夫 さん



団体紹介

傾聴ボランティア「心の倉庫」

市内5つの高齢者施設からの依頼で月1回1時間程度、入居者を相手に傾聴を実施。傾聴の普及やメンバー勧誘を目的とした講座の開催、5市2町の傾聴グループとの交流会の開催を行なっています。コロナ禍にはオンラインを使用した傾聴や講座開催を行いました。

助成金を活用した事業は?

傾聴の普及を目的としたチラシやポスターの印刷、イベントで使用する啓発クイズ用紙と看板の作成、傾聴現場までの交通費に活用しました。他の福祉基金や助成財団に比べると交付額は少なく自己負担が必要になりますが比較的、申請しやすく結果が早く分かるので安心して活動できます。助成金を得ることで自分たちの活動が広がりますので申請を検討してみてくださいはいかがでしょうか。

*ふるさと納税などで市に贈られた「公益活動促進のための寄付」と、「指定団体が受けた寄付の同額(マッチングギフト)」を積み立てた「池田市公益活動促進基金」から助成されています。

「2024年度 秋・冬 事業報告」



交流センターでは、これから活動を始めたい方やすでに活動をされている方への交流事業、講座、相談を通して、人と人、活動と活動をつなげるサポートやマッチングを行っています。

2025.1.18(土)

SNSの「中の人」集まれ! 広報お悩み持ち寄り会

市民活動の広報や発信担当者・通称「中の人」が集う講座を開催。地元池田の情報交換Facebookグループの管理者と、Instagramで地域のリアルな情報発信をされている方をゲストに招きました。前半はお二人から立ち上げ時の想いや運営の様子、展望などをお聞きしました。安心して情報を届けるために心がけていることや、「伝えたい!」という想いを発信につなげる姿に多くの学びがありました。

後半は「中の人」同士で交流。よく使う発信媒体や習熟度別でグループになり、発信で気をつけていることや苦労話、団体内での役割分担について意見交換しました。活動PRタイムでは多くの活動を知り合うきっかけとなりました。



2024.12.27(金)

しみかつランチタイム

ランチを持ち寄り一緒にごはんを食べながら、気軽に情報交換やミニ相談ができる「ランチタイム」。12月は1年の締めくり&冬休み特別企画として、フリースペースにいられたお子さんや利用者の方々と一緒に、おやつを囲みながら2階フロアの使い心地についてディスカッション。利用頻度は?こうなったらいいな!よかったところは?など、利用者さんの生の声が集まりました。



2024.12.21(土)

つながる会

市民活動をされている方、したいと考えている方、地域とつながりたい事業者の方などが悩みを持ち込んだり情報交換したりと気軽に交流できる「つながる会」。今回は池田市内外で音楽療法、金融の啓発活動、認知症や子ども食堂にかかわる活動をされている方が参加。多世代に向けて体験の機会を作ってほしいという共通の想いがありました。活動をもっと地域に知ってもらい浸透させたい、困りごとがあれば私達に気軽に頼ってほしいなどの意見も。「持続可能な活動の形」を探る、前向きでエネルギーッシュな時間となりました。



2025年度も、あなたの活動に役立つ講座やイベントを開催します。ぜひご参加下さい!



ホームページ



Facebook

センター事業の様子、最新情報はこちらからご覧ください。

「こんな企画をやってほしい」など、リクエストもお待ちしております。